



2018 9

目次

1. 平成30年度第1回理事会を開催	2
2. 平成30年度第1回監事会を開催	2
3. 水土里ネット宮崎職員永年勤続者表彰式を開催	2
4. 土地改良事業団体連合会九州協議会が農事用電力の経過措置について要請活動を実施	3
5. 平成31年度 農業農村整備事業関係予算並びに非公共予算概算要求の概要	4
6. 宗汰が行く！水土里ネットインタビュー(第20回:水土里ネット大島堰)	6
7. 11月の行事開催予定について(お知らせ)	8



串間市 大島頭首工(水土里ネット大島堰)

平成30年度第1回理事会を開催

本会は、去る8月27日、宮崎県土地改良会館2階役員会議室にて、平成30年度第1回理事会を開催した。

理事会は、丸目賢一会長をはじめ本会の理事・監事に加え、県より浜田真郎農村計画課長、盛永美喜男農村整備課長など25名出席のもと開催された。

はじめに、丸目会長が挨拶した後議長に選出され、平成29年度事業報告並びに一般会計収入支出決算の承認を含む4議案が審議され、原案どおり承認された。議事終了後は、5月28日に行われた設立60周年記念行事の報告とお礼、9月実施予定の宮崎県への要請活動に関する説明が行われた。

【提出議案】

- 第1号議案 平成29年度事業報告並びに一般会計収入支出決算の承認について
- 第2号議案 平成30年度一般会計収入支出補正予算(案)の承認について
- 第3号議案 確定拠出年金企業型年金規程の変更(案)について
- 第4号議案 マッチング拠出規程の変更(案)について



理事会の様子

平成30年度第1回監事会を開催

去る8月22日、宮崎県土地改良会館2階役員会議室にて、平成30年度第1回監事会が開催され、引き続き監査が実施された。

監事会は、栢木信治代表監事、川野恒道監事、甲斐一太郎監事出席のもと開催され、平成30年度監査実施計画を含む4議案が審議され、原案どおり承認された。

引き続き実施された監査では、平成29年度事業報告並びに一般会計収入支出決算について説明後、関係書類、財務諸表、金銭出納処理及びこれらに伴う諸帳簿、証拠書類などについていずれも適正に運営、処理されていることが確認された。

【提出議案】

- 第1号議案 平成30年度監査実施計画について
- 第2号議案 監査結果の処理方法について
- 第3号議案 平成30年度一般会計収入支出補正予算(案)の承認について
- 第4号議案 平成30年度第1回監査内容について



監事会の様子

水土里ネット宮崎職員永年勤続者表彰式を開催

本会は、去る8月27日、宮崎県土地改良会館2階役員会議室にて、職員永年勤続者表彰式を行った。

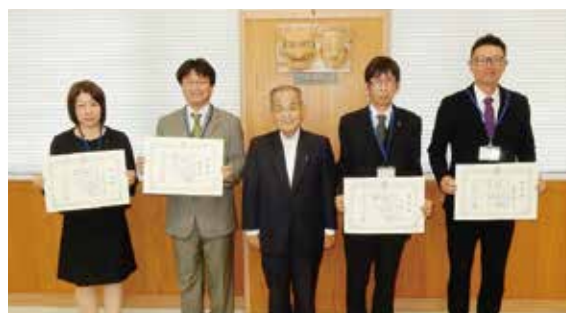
受賞者は下記の通り。

勤続30年表彰

- | | |
|---------------|-------|
| 事業部設計課長 | 橘木 利満 |
| 総務部総務企画課経理係長 | 遠矢 聡子 |
| 総務部南部事務所設計1係長 | 宮脇 裕二 |

勤続20年表彰

- | | |
|-------------------|-------|
| 事業部設計課西諸県現場監理担当主査 | 永野 正和 |
|-------------------|-------|



遠矢係長 橘木課長 丸目会長 宮脇係長 永野主査

土地改良事業団体連合会九州協議会が農事用電力の経過措置について要請活動を実施

土地改良事業団体連合会九州協議会（丸目賢一会長）は、去る 8 月 2 日、福岡県にある九州電力本社において農事用電力に係る経過措置の継続について要請活動を行った。

要請活動には、本会から丸目会長と三好亨二常務理事、水土里ネット福岡から吉村恭一専務理事、岩田阿佐美事務局長が出席した。

はじめに、丸目会長が要請書を手渡し、電力の小売自由化に伴い平成 32 年 3 月末まで経過措置が予定されている低圧電力での措置継続、さらには既に自由化されている特別高圧と高圧分野での料金据え置きを要請した。

引き続き、三好常務理事が要請事項に関して、農業用水利施設における動力源は主に農事用電力を使用しており、経過措置が撤廃されると電気料金が大幅に増加するため運営が逼迫すること、また、近年は自然災害が頻発しており、九州各県においても電力使用量が増加傾向にあることを説明し、経過措置継続について格別の配慮を要請した。

要請に対して、阿部哲理九州電力営業本部料金戦略グループ長からは「内容は理解しているが、すぐに『承知した』とはいかないこととはご理解いただきたい。また、経過措置撤廃後、すぐに全ての電力会社で規制解除という訳ではない。国が要件や条件の整備を行っているので、その結果を待って判断していく。」と回答があった。

その後、丸目会長と吉村専務理事が、それぞれの県における電力利用の状況等について説明した後、要請活動の謝辞を述べた。



阿部グループ長（右）への要請



要請活動の様子

〈要請事項〉

- 一 農事用電力について、その利用実態や社会的・経済的意義等を踏まえ、低圧分野の経過措置の平成32年度以降の継続並びに既に自由化されている特別高圧、高圧分野を含めた農事用電力メニューの継続と料金の据え置き

※ 電力自由化と農事用電力の経過措置について

これまで電気の販売は、各地域の大手電力会社によって行われていたが、発電設備を作る技術を持つ一般企業の増加によって自由化が段階的に進み、平成 28 年 4 月からは全面自由化された。それに伴い、これまで政府が定めていた電気料金規制も撤廃されることになった。

一方で、「規制なき独占」に陥ることを防ぐため、農業者などの低圧需要家向けの小売規制料金については経過措置が講じられ、平成 32 年 3 月末までは、全国すべての地域で従来と同様の規制料金（経過措置料金）を存続すると共に、すでに自由化されている特別高圧、高圧分野でも従来の農事用電力メニューが継続されている。

現在、この経過措置については、全国各地で措置継続に向けた要請が行われており、政府でも措置継続の検討に加え、撤廃後を想定した課題の整理と新制度の導入について検討が行われている。

農業水利施設の運転操作に係る農事用電力の年間使用量は全国で約12億キロワット。
経過措置が撤廃され一般料金となると、**電気料金が約1.6倍となる**ことが予想されている。



農事用電力の年間電気料金比較
（九州各県から抽出した14地区の合計）

平成31年度 農業農村整備事業関係予算並びに非公共予算概算要求の概要

農林水産省は、去る8月31日に、平成31年度の予算概算要求を公表した。

農林水産関係全体の概算要求額は 2兆7,269億円 (対前年度比118.5%) となり、このうち、土地改良事業関係予算は5,305億円 (対前年度比122%) となった。

平成31年度農業農村整備事業関係予算 概算要求の概要

(単位:億円)

	平成30年度当初予算額	平成31年度概算要求額	対前年度比
農業農村整備事業(公共)	3,211	3,917	122.0%
農業農村整備関連事業(非公共) (農地耕作条件改善事業) (農業水路等長寿命化・防災減災事業)	499	621	124.6%
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	639	767	120.0%
計	4,348	5,305	122.0%

(注) 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業の概要

(単位:億円)

事項	平成30年度当初予算額	平成31年度概算要求額	対前年度比
国営かんがい排水	1,162	1,221	105.1%
国営農地再編整備	221	322	145.9%
国営総合農地防災	265	298	112.7%
直轄地すべり	10	2	19.5%
水資源開発	72	72	100.9%
農業競争力強化基盤整備	667	949	142.2%
農村地域防災減災	528	739	140.0%
土地改良施設管理	157	166	105.5%
その他	128	147	114.9%
計	3,211	3,917	122.0%

(注) 1. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

2. その他には後進地域開発特例法適用団体土地改良等関係開発指定補助率差額金を含む。

3. 国営総合農地防災には土地改良施設突発事故復旧事業(直轄)、農村地域防災減災には土地改良施設突発事故復旧事業(補助)を含む。

平成31年度の非公共予算概算要求額は、約1,645億円 (対前年度比106%) となった。

非公共予算の概要

(単位:百万円)

事項	平成30年度当初予算額	平成31年度概算要求額	対前年度比
農地耕作条件改善事業	29,832	36,693	123.0%
農業水路等長寿命化・防災減災事業	20,020	25,404	126.9%
多面的機能支払交付金	48,401	49,000	101.2%
中山間地域等直接支払交付金	26,340	26,610	101.0%
農山漁村振興交付金 ※「農泊」の推進、山村活性化支援交付金を含む	10,070	11,023	109.5%
鳥獣被害防止総合対策交付金	10,350	12,217	118.0%
特殊自然災害対策施設緊急整備事業	150	200	133.3%
有明海再生対策(農村振興局計上分)	1,000	1,000	100.0%
農村振興局 非公共予算総額	155,223	164,550	106.0%

(注) 1. 計数整理の結果、移動を生じることがある。

2. 農村振興局 非公共予算総額については、主な事項以外の事業等も含めた総額である。

平成 31 年度農林水産関係予算概算要求の重要事項【農村振興局関係抜粋】

※各事項の下段（ ）内は、平成 30 年度当初予算額

1 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

(1) 農地中間管理機構による農地集積・集約化と農業委員会による農地利用の最適化

①農地の大区画化等の推進〈公共〉

・農地中間管理機構が借り入れている農地について、農業者からの申請によらず、都道府県が、農業者の費用負担等を求めずに基盤整備事業を実施すること等により、地域の特性に応じた農地の大区画化・汎用化等を推進

②農地耕作条件改善事業

・農地中間管理機構による担い手への農地の集積・集約化や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農業者の費用負担の軽減を図りつつ、事業を実施すること等により、区画拡大等を促進

(農業農村整備事業で実施)

1,503 億円の内数

(1,110 億円の内数)

367 億円

(298 億円)

2 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施

○水田の畑地化、汎用化の推進〈公共〉

・高収益作物への転換を促進するため、水田の畑地化・汎用化のための基盤整備を推進

(農業農村整備事業で実施)

1,503 億円の内数

(1,110 億円の内数)

3 強い農業のための基盤づくりと「スマート農業」の実現

(1) 農業農村基盤整備 (競争力強化・国土強靱化)

①農業農村整備事業〈公共〉

・農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地集積の加速化・農業の高付加価値化のための農地の大区画化・汎用化や水路のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の長寿命化や豪雨・耐震化対策等を推進

3,917 億円

(3,211 億円)

②農地耕作条件改善事業 (再掲)

1 (1) ②と同様

367 億円

(298 億円)

③農業水路等長寿命化・防災減災事業

・農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的かつ効率的な長寿命化対策及び防災減災対策を支援

254 億円

(200 億円)

④農山漁村地域整備交付金〈公共〉

・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

1,100 億円

(917 億円)

⑤ため池緊急対策〈一部公共〉

・全国の農業用ため池の緊急点検結果等を踏まえ、下流の家屋等に被害を及ぼすおそれの高いため池について、緊急的・総合的な対策を支援

(農業農村整備事業、農業水路等長寿命化・防災減災事業で実施)

1,329 億円の内数

(1,036 億円の内数)

4 農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施

①多面的機能支払交付金

・農業者等で構成される活動組織が農地を農地として維持していくために行う地域活動や、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付

490 億円

(484 億円)

②中山間地域直接支払交付金

・中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、条件不利地域での農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付

266 億円

(263 億円)

宗法が行く! 水土里ネットインタビュー

県内水土里ネットの
取り組みや今後の展望を紹介する
「水土里ネットインタビュー」。
第20回は「水土里ネット大島堰」を
ご紹介します。



第20回 水土里ネット大島堰

水土里ネット大島堰の歴史と概要

水土里ネット大島堰は県南部の串間市に位置し、市の中心部を流れる福島川沿いに広がる市内随一の水田地帯である。名前の由来である大島頭首工は、享保2年に創設されてから、明治、大正、昭和と改修され現在に至っており、その周辺は現在「桂原地区親水公園」の河川プールとして地域の憩いの場になっている。

昭和26年に区画整理事業が実施されたが、農道は狭小で幹線水路は素掘りであったため、土砂堆積による通水障害や、漏水による農作物への被害が頻発していた。そこで、昭和52年～54年にかけてかんがい排水事業や農道整備事業を実施し、幹線水路や農道の整備が進められた。

現在は施設の維持管理や補修を主体に取り組んでいるが、頭首工などの主要施設は完成から50年以上が経過しており、老朽化対策が課題となっているが、現在、新たに塩屋原地区のほ場整備に取り組むなど、基盤改善を図っている。



渡辺 美紀 奥村 千扶子 河野 律雄
(職員) (副理事長) (理事長)



大島頭首工



水土里ネット大島堰の周辺地図



水土里ネット大島堰

- 正式名称：大島堰土地改良区
- 設立年月日：昭和26年3月31日
- 地区面積：164ha ●組合員数：425名
- 職員数：1名
- 所在地：串間市大字南方249
福島地区土地改良資料館内
- 電話番号：0987-72-2334

◆塩屋原地区でのほ場整備への取り組み

Q：土地改良事業への取り組みについて教えてください。

A：現在、塩屋原地区のほ場整備の実施及び推進に取り組んでいます。

この地区の農地は 1 区画 10a 未満で農道も狭いため、農業の近代化に対応できていませんでした。また、高齢化が進み離農者が増加するなか、担い手も地区外で営農しており、農地の荒廃が心配されています。

そこで、土地改良区では、県や市の協力のもと、地区全体ではほ場整備に向けた説明会を行いました。その結果、平成 22 年度から計画が開始され、平成 28 年度に採択、今年度着工に至りました。

まだ始まったばかりで手探りの部分もありますが、事業が完了することで、農業基盤が改善され、担い手が地区に戻ってきてくれることを期待しています。



県営経営体育成基盤整備事業（塩屋原地区）
（平成 25 年度宮崎県土整備部砂防課撮影）

事業概要

事業内容	受益面積	55ha
	道路工	7.97km
	用水路工	5.65km
	排水路工	5.59km
事業期間	平成28年度～平成33年度(予定)	

◆地域の将来を見据え各種事業への取り組みを推進

Q：今後の展望をお聞かせください。

A：組合員の高齢化により、維持管理活動への参加者が減っていますので、管理や営農しやすい体制づくりのために、農地の集積や大区画化に取り組む必要があります。

また、土地改良施設の補修、更新も課題のひとつです。歴史ある地区なので、多くの施設に老朽化が見られます。特に幹線水路の破損は 300 箇所を超えており、早急な補修が必要です。

そこで、区域内全体ではほ場整備や施設の更新事業に取り組みたいと考えています。

事業を実施することで、維持管理に係る負担が軽減されるとともに、農地が集積しやすくなり、営農の規模拡大や更なる事業実施に繋がることを期待しています。

また、担い手に水土里ネットの活動への参加や運営に協力してもらい、役割や必要性を認識してもらうとともに、地域の将来と考えています。

また、多面的機能支払交付金の活動を今後も継続し、維持管理や施設の補修を行うとともに、多くの方に活動に参加してもらうための PR にも取り組んでいきます。

課題は山積していますが、将来も地域で営農が続くように、役員をはじめ組合員全員で取り組んで参ります。

宗汰のインタビュー・ノート

今回の取材では、営農の継続という目標に向けて、営農や施設の維持管理に対する課題と向き合い、将来に持ち越さないよう精力的に取り組んでいることを知りました。

事業の推進については、「組合員への説明や同意取得にあたっては、役員だけでは対応できないことも多い。事業を継続して実施するためにも、行政と協力して推進していきたい。」という、今後の方針も聞くことが出来ました。

また、現地を取材した時に、頭首工周辺の河川プールで子供達が遊ぶ姿を見て、施設が農業だけでなく、地域のために必要であることを確認でき、水土里ネットが行う管理や補修が、農業だけでなく地域の生活にも影響を与えていることを認識しました。

11月の行事開催予定について(お知らせ)

水土里の路ウォーキング in 高千穂 開催

●目的

管内土地改良施設及び農地を配置したコースによるウォーキング大会を開催することにより、県民に対し、世界農業遺産として評価された土地改良施設や地域農業の現状及び農業の必要性について理解を深めてもらうとともに、歴史や自然を共に感じつつ、食を支える農業・農村のイメージアップに寄与する。

●開催日時

平成30年11月3日(土) 10時00分～ ※昼食のふるまい有り

●開催場所

集合場所:がまだせ市場

コース:がまだせ市場～高千穂神社～高千穂峡～仲山城跡キャンプ場～山腹用水路～向山神社参道入口～丸小野公民館を巡るコース(約7.0km、4時間程度)

●参加費

500円(昼食・保険料)

●主催

宮崎県

申し込み締切

平成30年10月5日(金)まで

九州「農地・水・環境保全」フォーラム in 宮崎 開催 ～はぐくもう美しい水土里 つなげよう地域の絆～

●目的

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るために農用地、水路、農道等の農業資源に加え、自然・景観・生物多様性・伝統文化などの地域資源を、地域全体で保全・継承する必要がある。

このことから、各活動組織、関係者が明確な意識のもと、活発な活動を実施するための動機付けとするとともに、国民全般に対し情報を発信することで、農山村地域が有する多面的機能を周知することを目的に開催する。

●開催日時

フォーラム:平成30年11月8日(木) 13時30分～16時30分

意見交換会: // 18時00分～

●開催場所

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 演劇ホール

宮崎市船塚3丁目210番地 Tel.:0985-28-3237

※駐車場に限りがございますので、ご来場の際はバス等の公共交通機関をご利用ください。

●主催

ふるさと環境フォーラム・九州連絡会(事務局:宮崎県多面的機能推進協議会)

疏水フォーラム in 立梅用水 2018 開催

～疏水・農業用水を有する多面的機能と、これを活かした地域施策をみんなで一緒に考えましょう～

●開催日時、場所

フォーラム:平成30年11月29日(木) 13時00分～17時00分【入場無料、当日入場可】
多気町民文化会館 三重県多気郡多気町相可 1587-1

交流会:平成30年11月29日(木) 18時30分～20時30分【有料、事前申し込み必要】
フレックスホテル3階 鳳凰の間 三重県松阪市中央町36-18

現地視察:平成30年11月30日(金) 8時00分～13時30分【事前申し込み必要】

視察経路:松阪駅(近鉄側)～立梅井堰～小水力発電「彦電」

～西村彦左衛門生家と記念公園～松阪駅(近鉄側)

●主催

水土里ネット立梅用水、全国水土里ネット、疏水ネットワーク

申し込み締切

平成30年10月5日(金)まで

【各行事への問い合わせ先 会員支援課 会員支援係 0985-24-3361(直通)】